

## 11 月 1 日 : VN 指数は再び軟調な動き (VN-Index -0.76%)

- 本日の VN 指数は昨夜米国市場のあおりを受け、前日終値を下回って寄り付いた。
- 投資家のセンチメントは慎重になったことで資金流入が停滞し、売り方が徐々に優勢になっていった。
- 銀行セクターがその動きに逆らった唯一のセクターであった。
- 後場にはその銀行セクターも同様に下落水準に落ち込み、多くのセクターの下落が市場全体に波及した。
- 86 銘柄が上昇、289 銘柄が下落、60 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は減少し、前日比 17.8%減の 14.8 兆ドンとなった。

### VN30 指数も全面安 (VN-30 -0.97%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、3 銘柄が上昇、25 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずであった。
- POW (-2.93%)、MSN (-2.74%)、GVR (-1.82%)、MBB (-1.80%)など業種にかかわらず下落は広がった。
- その一方で、BVH (+1.40%)、SSB (+2.42%)の上昇は顕著であった。

### セクター・個別株の動き

- BCG (+5.18%)は 2024 年第 3 四半期の純利益が 3,310 億ドン（前年同期比+3,521%）と大幅に増加したことを明らかにし、同社株は大幅高となった。
- 同様に HDG (+2.44%)も同期の売上高が 5,670 億ドン（前年同期比+23%）、純利益が 1,820 億ドン（同+83%）を記録したことが好感された。
- 外国人投資家は 3,010 億ドンの売り越しとなった。売り越し銘柄では韓国 SK グループによる売却を中心として MSN (-1.92%) が最も売られ、VPB (-1.47%)、TCB (-0.84%)には買いが集中した。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。